

syou 絆



地域がん診療連携拠点病院・基幹型臨床研修病院・協力型臨床研修病院・地域医療支援病院・災害拠点病院・熊本DMAT指定病院・救急指定病院

理念 140年の歴史と設立の経緯を忘れず全人医療を提供します

基本方針

患者中心の医療

患者の人権と意思を尊重します

診療3本柱

がん・救急・予防医療を中心に医療機能の充実を図ります

完結型医療

地域の医療機関と連携し安心できる医療の展開を行います

地域包括ケア

地域包括ケアシステムを推進し地域のまちづくりに貢献します

社会貢献

災害医療派遣・医療情報公開・医療ボランティアの活動を行います

医療人育成

地域医療に貢献できる医療人の育成を行います



新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお祈りします。

早いもので新型コロナ発生から2年が経過しましたが、医療現場はすでに3度のmRNAワクチンを打ちながら変異するウイルスと戦っています。この新型コロナ感染が早期に終息し以前のような落ち着いた日常が戻ることを心から祈念します。コロナ禍で令和2年7月豪雨災害が発生しましたが、人吉の街は被災家屋の解体が進みこれから建築再建という段階です。併せて人吉球磨、芦北、八代の早期の復興を祈念します。

今年は病院開院から145年となります。明治10年の西南戦争、その後に発生したコレラという感染症を契機に住民の寄付によって設立した公立人吉病院は当に戦争、疫病、天災という災害から地域を守るために創られた病院でその役割を145年果たしてまいりました。これからも地域のみなさまが安心して暮らせる

よう当院は地域の中核病院としてその役割を果たしてまいります。

今年は「壬寅(みずのえとら)」は「新しく立ちあがること、生まれたものが成長すること」とあり縁起が良いとされています。まさに水害から復興を目指している当地域にふさわしい干支です。そこで当院の今年の目標は「いつまでも立ち止まってないで、未来を見つめて前へ進もう！」とし、ポストコロナを見据えて次世代へ繋ぐ準備を進めていきたいと思えます。

これまで同様、大学、行政、医師会そして地域のみなさまのご支援とご協力をお願い申し上げます。

今年がみなさまにとって良い一年となることを祈念申し上げます。

JCHO 人吉医療センター 院長 木村 正美

第31回 JCHO 人吉医療センター研究発表会

令和3年12月22日に第31回 JCHO 人吉医療センター研究発表会を開催しました。当院の研究発表会はこれまで毎年春冬の年2回開催をしてきましたが、新型コロナウイルス感染症や令和2年7月豪雨等の影響があり約2年ぶりの開催となりました。また、今回は、場所を当院の3階講堂と Web でのハイブリッド形式での開催を実施しました。

今回の発表者は、JCHO 学会ポスター表彰優秀演題「診療報酬増額につながった周術期口腔機能管理の取り組み－ホスピタリティーを、収益につなげて－」歯科口腔外科センター長 石神哲郎先生をはじめ、診療放射線技師1名、臨床検査技師1名、看護師3名の計6演題の発表がありました。各々の実情や取り組み知る機会でもあり、参加された職員の方々に刺激となり、自己研鑽を重ねる機会となりました。コロナ禍が継続しておりますが、引き続き研究を通して、質の高い医療やサービスを患者さんへ提供できるよう努めていきたいと思っております。

教育研究・広報・図書委員会 田頭 隼人

第31回 JCHO 人吉医療センター研究発表会プログラム

No	演 題 名
第1セッション	
1	新型コロナウイルス検査について - 抗体検査を中心に -
2	看護師の On-the-job training の実践に必要な能力と看護師経験年数・研修受講の関連
第2セッション	
3	令和2年7月豪雨水害を経験して - 画像診断センターの対応と防水対策 -
4	H病院における非侵襲的陽圧換気マスクによる医療機器圧迫創傷予防
第3セッション	
5	温熱療法、高気圧酸素療法併用のがん薬物療法遂行のための他職種連携
6	～ JCHO 学会ポスター表彰優秀演題～ 診療報酬増額につながった周術期口腔機能管理の取り組み - ホスピタリティーを、収益につなげて -

地域連携緩和ケア研修会を開催しました

12月8日に医療従事者を対象に「終末期の家族ケア」という内容でWeb研修を開催しました。WHOでは「生命を脅かすような疾患による問題に直面している患者とその家族に対して、痛みやその他の身体的・心理的・スピリチュアルな問題を発見し、的確なアセスメントと治療を行う事で苦痛を予防・軽減し、生活の質を向上させるアプローチである」と定義されています。そこで家族ケアの必要性、重要性についての講義を行いました。家族ケアには2つの側面があり、一つはご家族が患者さんを支える事ができるのか、家族のサポート力をアセスメントし、元々持っている家族の力を発揮できるよう支援する事

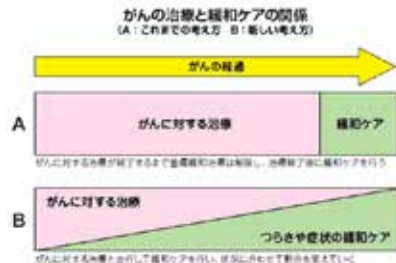
であり、もう一つは家族への直接的なケアであり、看取り前後の精神的な支援をする事です。家族ケアは一般病棟では後回しになりやすいかもしれませんが、ご家族・ご遺族への声かけも大切な家族ケアの一つであり、ご家族が悲しみに向き合い、乗り越えるために感情をはきだす事も必要です。患者さんやご家族の苦痛に寄り添うために少しでも参考になればと思います。今後も地域連携緩和ケア研修会を開催しますので、興味のある方はご参加ください。

緩和ケア認定看護師 田安 厚美

切れ目のない緩和ケアを目指して

当院は、毎週木曜日の午後、緩和外来があります。2021年12月より切れ目のない緩和ケアを目指し外来看護師だけでなく、緩和ケア病棟看護師が外来で対応し、多職種（医師、薬剤師、臨床心理士、MSWなど）と協力しながら「症状緩和診療と相談」「緩和ケア病棟入院の検討や緩和面談」を行っています。今は「がんと診断された時からの緩和ケア」と言われています。つまり、化学療法、放射線治療中など、どの段階でもケアを受ける事ができます。入院時だけでなく、外来から疼痛や精神的問題に対して、苦痛を軽減できるようなサポートができればと思っています。患者さんと直接お話をすることで症状の確認をし、必要時は多職種への介入依頼を行い、外来で症状コントロールができます。このような関わりを通して、疾患だけでなく、その人やその人の周囲の環境（家族など）を知ることができ、入院が必要になった場合にスタッフへの情報提供、情報共有が素早くできると考えます。少しでも苦痛なく生活できるようにお手伝いができればと思っていますので気軽に声をかけてください。

緩和ケア認定看護師 田安 厚美



ご案内

当院では補助犬同伴可マークを掲示し、補助犬同伴の方の受入れを行っています。また、患者図書室・会計窓口に募金箱を設置いたしました。皆様のご理解とご協力をお願いします。

補助犬（身体障害者補助）とは、盲導犬、介助犬及び聴導犬のことで、身体障害者補助犬法に基づき訓練・認定された犬です。



看護師募集 パンフレットができました！

パンフレットのコンセプトは、「かわいい」「高校生のノート」です。皆さんは、高校生や大学生のメモやノートを見たことがありますか？カラフルなマーキングや吹き出しの付箋、マスキングテープなどを活用しています。また、ネット社会の若者は写真が多い、イラスト、漫画っぽいなどのキーワードがあります。そこで、今までの概念を取り払い、学生が手に取ってみたいパンフレットを目指し、試行錯誤の末、今までにない「かわいい」パンフレットが出来ました。かわいいパンフレットですが、人吉を感じてもらえるように相良家家紋をモチーフに青井阿蘇神社や復興に願いを込めたランタンなどの写真や人吉医療センターの救急医療などはふんだんに使用しています。下記アドレスからぜひ一度ご覧ください。

<https://hitoyoshi.jcho.go.jp/wp-content/uploads/2014/06/2201panfu.pdf>



第74回『肥後医育塾』で講演させていただきました

令和3年12月11日熊本日日新聞社大ホールで『第74回肥後医育塾市民公開講座』が開かれました。「肥後医育塾」とは、1997年に肥後医育振興会と化学及血清療法研究所、熊本日日新聞社が、医学の正しい情報を広く伝えるとともに、これからの医学・医療を考えることを目的に始めた市民公開セミナーです。今回は4名の演者にて『「かかりつけ医」と『専門病院』の診療連携』をメインテーマとした講演を行いました。

ひまわり在宅クリニックの後藤慶次先生からは「在宅医療における地域連携」について、熊本赤十字病院脳神経外科 寺崎修司先生からは「脳卒中診療の連携はかかりつけ医から始まりかかりつけ医で完結する」と題した「脳卒中の一方型または循環型医療連携」について、イエズスの聖心病院の木村哲也院長からは「その人らしく生きる～在宅での緩和ケア～」と題した「多職種連携のチームによる在宅療養」の重要性につきお話がありました。そして、私からは「がんの循環型地域医療連携」についてお話させていただきました。患者さん中心に専門医とかかりつけ医が情報交換しながら交互に行うフォロー、さらに急性期～回復期～慢性期までリハビリや介護など含むシームレスな連携、再度治療が必要になった場合の専門医に戻って行く医療など循環型の地域完結型医療とその具体的ツールとしての「私のカルテ」（がん診療連携パス）をご紹介します。

少子高齢化に伴い、支え手の不足、地域格差、医療費高騰などが懸念され、感染症対応も迫られる中、「地域医療構想」や「地域包括ケアシステム」などキーワードになっています。医療の専門分化や「くまもとメディカルネットワーク」などICT化も伴い、医療連携も高度化・広域化が予想されます。本講演会は、一般市民や医療に従事

する方々にとっても、医療の均てん化や質向上の為に関係機関の連携が重要であることをご理解いただく良い機会になったのではないのでしょうか。

講演の様子は1月14日付熊本日日新聞に掲載され、YouTubeでも動画配信されています。よろしければご覧ください。いつも地域医療連携につき皆様よりご協力をいただき、誠にありがとうございます。今後ともよろしく願い申し上げます。

医療福祉連携室 南 秀明



R4年1月14日 熊本日日新聞より

熊日 YouTube チャンネルで講演動画を公開

12月11日に収録した講演の様子を熊本日日新聞社のYouTubeチャンネルで公開中です。QRコードを読み取ると、各コンテンツの動画を見ることができます。



県民公開講座で『在宅緩和ケア』の講演をしました

令和3年12月12日、くまもと県民交流館パレアにて、『くらしを大切にできるがん医療に向けて』と題した県民公開講座が開かれ、がん検診、がん治療、そして緩和ケアについての計5つの講演がおこなわれました。私は、その中で、『人吉球磨地域の在宅緩和ケアの現状』という講演をさせていただきました。

《在宅緩和ケアとは》

がんの病状が最終段階になると、外来通院そのものが大きな負担になってきます。

そこで、医師・看護師が家にうかがい、苦痛を和らげる治療を継続するのが『在宅緩和ケア』です。

「病状が進んだら入院するしかない」と思われがちですが、「病状が進んでも最期まで家で過ごせる」、これを支えるのが『在宅緩和ケア』になります。

《在宅緩和ケアの希望者が急増しています》

コロナ禍以前、私たちが家で看取った患者さんは、年間8人と少ないものでした。

しかし、コロナ禍となり、入院患者さんへの面会が禁止されると、『在宅緩和ケア』の希望者が急増、この1年間で56人の患者さんを家で看取りました。

《どんな人でも帰れます》

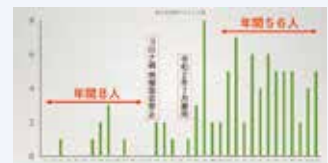
体に管がついていたり、大量の酸素吸入が必要だったり、また余命が数日と見込まれる状態だったとしても、家に帰って最期まで過ごすことができます。

また、がんに限らず、間質性肺炎・心不全・肝硬変などの患者さんも、同じく最期まで家で過ごすことができます。

《おわりに》

人吉球磨地域には、『在宅緩和ケア』への意識が高い医師・看護師がたくさんいます。ケアマネとの連携もうまくいっています。患者さんにとって、最期を過ごしやすい地域になってきているのではないのでしょうか。

緩和・在宅医療センター長 渡邊 龍太郎



1. 人吉医療センターの支援体制

- 〇いいスタッフが揃っている
- ・訪問看護師
- ・専門看護師
- ・臨床心理士
- ・社会福祉士
- ・薬剤師
- その他にも

「在宅緩和ケア」まとめ

1. 病状が進んでも家で過ごせるように支えます！
2. 人吉球磨では了信に増えました！
3. どんな人でも帰れます！
4. 訪問看護が24時間対応します！
5. 人吉球磨は良いですよ！

「こころといのちの支援事業」を Web にて受講しました。

1月11日(火)、こころといのちの支援事業について、熊本市こころの健康センター(以下:センター)における取り組みや支援の状況を伺いました。具体的な取り組みとして、自殺未遂や自殺企図者が医療機関を受診すると、その医療機関からセンターに連絡が入り、入院中にセンター職員が患者訪問をしたり、受診後帰宅となった方には取り組みのご紹介やご案内の電話連絡を行うなど、困り事や悩み事を一緒に考えるために、細やかな連携と取り組みがなされていました。また、患者さんだけでなく、その家族に対しても、カンファレンスや必要に応じて個別支援会議などを行い、支援を行っていらっしゃるとの事でした。

特に、患者さんや家族を繋ぐツールとして、センターのリーフレットを活用しておられました。何らかの支援を求めているものの、患者さんやご家族だけではどこに相談したらよいか分からなかったり、複数の問題が絡んでいると更に

悩まれたりする場合があります。また、外部の支援を受けることへ抵抗感を示されたり、医療支援者としての思いを言葉で伝えてうまく届かなかったり、私自身モヤモヤを感じることもありました。しかし、リーフレットを媒介ツールとして使用することで、患者さんやご家族、そして、医療者を繋いでくれることが伺えました。

また、精神保健福祉士や公認心理師、臨床心理士の方々が支援者として関わっておられるとのことでしたが、複数の職種にて関わることで様々な視点から捉えていくことを強みとして活用しておられたことは、当院での多職種におけるの支援や関わりを再確認した体験でもありました。

このように、他機関での取り組みを知り、当院での支援の充実に向けて努めていきたいと思えます。

心理療法士 鶴田 真奈美

急激な温度差にご用心！！

新たな年を迎え寒い日が続く中、感染症対策と併せて日常生活においてご注意ください。[ヒートショック]という言葉をご存じでしょうか？

急激な温度差により血圧が大きく変動することで失神や心筋梗塞などを引き起こすことを「ヒートショック」と呼びます。

ヒートショックは、トイレや浴室など日常生活の中で暖かい場所から寒い場所へ移動するだけで起こる可能性があり、場合によっては命を落とすこともある非常に危険な現象です。真冬では、同じ家の中でも暖房が効いた部屋と他の部屋とではかなりの温度差が生じることもあり、高血圧や不整脈といった持病をお持ちの方、高齢者の方は特に注意が必要です。

例えば、暖かい部屋から脱衣所に移動して衣類を脱ぐと、寒さに対応するため体が熱を奪われないように血圧が上昇し血管が狭くなります。そのまま浴槽につかると湯温で体が温まり、血管が広がることで血圧が急激に下がりヒートショックを引き起こします。浴槽内でヒートショックが引き起こされると溺死する可能性もあります。飲酒をされた後の入浴も非常に危険ですので控えられるほうが安全です。

対策としては、脱衣所や浴室、トイレなど室温が下がりやすい場所は暖房器具やシャワーを利用して暖め、他の部屋との温度差をできるだけなくすことが効果的です。冬場のお風呂などは少し時間に余裕を持ち事前の備えにご留意ください。

医療福祉連携室 野々上 真一



救急車同乗実習を終えて

当院は人吉・球磨の地域中核病院として、1から3次救急医療を担い、原則かかりつけ医からの紹介による受診となっております。

その例外として救急車での救急外来があります。当院では下球磨消防・上球磨消防・伊佐湧水消防・えびの消防からの搬送があり、当院では研修医が中心となって初療しています。そのため研修医と救急隊との連携が非常に重要だと考えています。

そこで、連携を深めるために2021年12月に2週間、下球磨消防の救急隊と当院研修医による病院前・病院医療の研修を行いました。

救急隊は当院救急外来に1隊常駐し、出動時は当院から研修医と一緒に出動します。救急隊の初期評価・初期対応から、移乗、受け入れの電話、搬送の一通りの手順を経験することが



できました。救急外来待機中はシミュレーションや症例検討会を行いお互いに知識の確認整理を行うことができました。

今までは受け入れる側の視点しか考えることができていませんでしたが、今回研修を行ったことで救急隊の視点で考えることもできるようになり、当院救急外来での診療の質がさらに向上したと思っております。

今後も定期的にこの研修を開催することでさらに救急外来での診療の質を高めることができると考えております。

臨床研修医 笹栗 誠



山下 夕佳里	スキルアップ目指します。	中村 佑希	仕事に家庭に健康第一で頑張ります。
日當 彩里	昨年以上を目指して頑張ります。	倉永 美鶴	新しい事にトライします。
加藤 真寿実	今年も頑張ります。	眞田 由紀	2022年は、笑顔で過ごせる様にお仕事頑張ります。
河津 夏織	健康第一に頑張ります。	赤城 広輝	一年目で培った知識や技術をもとに、今年はよりひたむきに仕事に励みたいと思います。
田中 美優	虎穴に入らずんば虎子を得ずの精神で頑張ります！	丸尾 時雄	「大自然の理法に神習え」 いつも調和を。
尾崎 宣之	今年は、36歳になるので笑顔で頑張ります!!	木下 志保里	今年こそ、身に付けたい運動習慣。メタボ・ロコモ阻止!!
松本 茜	今年も元気に頑張ります！	嘉村 基樹	暴虎馮河(ぼうこひょうか) 血気にはやった向こう見ずな危険な行い)しないよう気をつけます
落合 麗菜	仕事・健康・生活面では充実した一年になるよう過ごしていきたいです。	福岡 由香	自分らしく、一日一日を元気に楽しく過ごしていけるようにしていきたいです。
梶野 佑紀	笑顔を忘れず、自分らしく頑張ります!!	岩崎 和弘	今年は風邪引かず、一年過ごしたいです。コロナにもかからないように気をつけます。
矢野 薫	前向きになにごとにも挑戦できる一年にしていきたいです!!	河村 健太	入社3年になりますが、これまで、業務を遂行する事に精一杯でした。今年は、当院が求められている役割をより理解した上で「リハビリテーション職としてどうあるべきか」を再考していく年にしたいと思っています。
角田 菜々子	寅年うまれらしく一生懸命たたかう1年にします!!	小川 拓海	何事に対して頑張るのは当たり前。社会人2年目。24歳という年齢に恥じないよう、一日を無駄にせず昨年よりも1段階成長。福岡に帰還するため経験積む。サガン鳥栖のサポーターとしてできる最大限のバックアップ、昨季7位の順位を超えるために選手を後押し。医療センターでサガン鳥栖のための資金稼ぎ。以上。
星原 孝幸	子宮頸癌検診と骨粗鬆症外来を担当しています。今年もよろしくお願ひします。	横田 芙蓉子	何事にもチャレンジ精神を持って、成し遂げれる年になるよう精進しようと思います。
吐合 友美	今年も、寅のように立派に吠えまくりませう (**_^^)	奥松 友泉	今年の抱負は、資格取得のための勉強を頑張ることです。
黒木 康平	熊本ライフを満喫するぞ～	岡本 理恵	見た目はヤギ、中身は獣(トラ)で48年目の今年も乗り切ります。今年もよろしくお願ひします。
渡辺 朋子	壬寅(みずのえとら)は、「家族思いのやさしい虎」です。私とは真逆です……。私の目標は、しがらみが無くなる頃に「沖縄に住みオープンカーに乗る」事です。あと12年後には叶うといいな、遊びに来てくださいね	東 恵	笑顔を忘れず、今年も一生懸命頑張ります!
松永 千恵	日々、トラ(虎)イ&エラーの精神で、着実に1歩1歩成長していきたいと思ひます。		
村上 陽子	首を大事にしつつ運動して健康になります		
渡邊 龍太郎	としの初めの抱負 しごとは程々にする おくさんを大切に ともだちに感謝する こどもを信じる		

☆人生の節目健診のご案内

(期間:令和4年2月1日～3月31日)

還暦や定年を迎え、新たな人生を踏み出すための節目健診をお受け下さい。また、75歳を迎えられる皆様にも節目として、特別料金で健診サービスを行います。

PET-CT、肺がんCT、乳がんマンモグラフィ、脳ドック、上部内視鏡など、これまで受けた事のない特殊健診を特別料金で提供いたします。

区分	特別料金(税込)	通常料金(税込)
PET-CT	92,500円	99,200円
肺がんCT	9,000円	9,900円
乳がんマンモグラフィ	5,000円	5,500円
脳ドック	32,000円	37,400円
上部内視鏡	12,500円	15,400円

☆バレンタインドックのご案内

(期間:令和4年2月1日～3月31日)

あなたの大切な人に、人間ドックのプレゼントはいかがでしょう。

期間限定で、日帰り人間ドックを特別料金で提供いたします。

区分	特別料金(税込)	通常料金(税込)
スタンダードドック	35,000円	40,700円
プレミアムドック	50,000円	56,100円

【お問い合わせ・お申し込み先】

JCHO(ジェイコー)人吉医療センター
 予防医療センター
 電話:0966-22-7070
 FAX:0966-22-7989

行事食

年末年始はにぎやかな行事が続きました。当院では患者様に、少しでもイベント気分を味わっていただこうと、クリスマスとお正月に行事食を提供しました。

クリスマスディナーはローストチキン、サラダ、スープと手作りのケーキを用意し、フルコースを楽しんでいただけるよう工夫しました。

元旦は、朝食にお雑煮、祝肴、紅白なますを、昼食には赤飯や、伊達巻き、紅白かまぼこなどのおせち料理を折に詰めました。色とりどりの食材に込められた新年への願いを感じていただけるよう提供しました。

料理に添えたメッセージカードには、沢山の喜びの声をい

クリスマス



お正月



ただき、食事が患者様の楽しみであることを再確認し、これまで以上に心を込めた食事をお届けしていこうと気持ちを新たにしました。

今年もより多くの患者様に喜んでいただけるよう、栄養管理室一丸となって頑張っていきたいと思っております。

栄養管理室 吉永 晴香

熊本県からのお知らせ

発熱等の症状がある場合の医療機関受診についてのお願い

発熱等の症状がある場合、かかりつけ医や最寄りの医療機関に必ず電話連絡のうえ受診していただきますようお願い致します。

受診・相談する医療機関に迷う場合は「発熱患者専用ダイヤル TEL:0570-096-567」にご連絡ください。診察・検査が可能な医療機関をご案内されます。以下の表1番目2番目の順にダイヤルをプッシュしていただくと、お住まいの地域の受診案内センターに繋がります。受診案内センターの開設時間は平日9時00分～17時00分です。

また当院では、発熱や咳などの症状がある場合は、予防医療センター北側の発熱外来にて対応致します。
予約制となりますので来院される前にご連絡ください。
検査費用は保険適応となりますが、紹介状が無い場合は、医療費とは別に選定療養費(5500円)がかかります。

【発熱外来予約】TEL:0966-22-7878(予約センター)
【問い合わせ】TEL:0966-22-2191(代)

発熱患者専用ダイヤル

	お住まいの市町村、地域	1番目	2番目
熊本市	熊本市	1	-
県北地域	宇土市、宇城市(不知火町、三角町)	2	1
	御船町、嘉島町、益城町、甲佐町、山都町	2	2
県北地域	宇城市(松橋町、小川町、豊野町)、美里町	2	3
	菊池市、合志市、大津町、菊陽町	3	1
	玉名市、玉東町、和泉町、南関町、長洲町	3	2
	荒尾市	3	3
	山鹿市	3	4
県南地域	阿蘇市、南小国町、小国町、産山村、高森町、南阿蘇村、西原村	3	5
	氷川町、八代郡(坂本町、千丁町、鏡町、東陽町、泉町)	4	1
	八代市(坂本町、千丁町、鏡町、東陽町、泉町を除く)	4	2
	水俣市、芦北町、津奈木町	4	3
	人吉市	4	4
天草地域	錦町、多良木町、湯前町、水上村、相良村、五木村、山江村、球磨村、あさぎり町	4	5
	天草市、上天草市、苓北町	5	-

それ以外の時間帯は「熊本県新型コロナウイルス感染症専用窓口(096-300-5909にて対応します。)」

株式会社フレーベル館様より絵本をご寄贈いただきました。

株式会社フレーベル館様から素敵な絵本63冊を寄贈いただきました。

音の出る本、しかけ絵本、文字や数字の知育絵本など楽しめそうな絵本ばかりでした。

寄贈いただきました絵本は早速小児科外来に配置し、大切に読ませていただきたいと思います。

あたたかいお心遣い本当にありがとうございます。



幸せの『マザーリーフ』をご存知ですか？

当院長室にあるマザーリーフが花を咲かせました。皆さん、1枚の葉っぱからたくさんの小さな芽を出す不思議な植物マザーリーフを皆さん知っていますか？

日本では小笠原諸島や南西諸島に生息しており、正式名称は、「セイロンベンケイソウ」と言います。水にそっと葉っぱを浮かべておくと、土の上に葉っぱをそっと置いておくだけで、葉っぱの緑から小さな芽が次々とたくさん出てくる葉っぱで、「幸せの葉っぱ」や「ミラクルリーフ」とも呼ばれています。

また、めったに咲かないと言われているマザーリーフの花ですが、上手に育てれば写真のような鈴なりの花が咲くことが出来ます。花が咲く時期が12月から春にかけての寒い時期なので、日本では花が見られるのは少ないそうで幻の花とも呼ばれるようです。花を見ることが出来れば幸せが舞い込んでくるかもしれません。院長室を訪ねられた際は、是非一度ご覧ください。

